



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社ステムセル研究所 上場取引所 東
 コード番号 7096 URL <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）清水 崇文
 問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長（氏名）谷 勝弘（TEL）03-6811-3235
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,213	17.1	215	31.4	216	31.1	159	45.1
2023年3月期第2四半期	1,036	19.8	163	48.5	164	73.6	110	80.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第2四半期	15.59		—					
2023年3月期第2四半期	10.75		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,143	2,478	40.3
2023年3月期	5,811	2,298	39.6

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 2,478百万円 2023年3月期 2,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,509	20.0	451	51.8	451	50.4	300	51.5	29.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	10,246,600株	2023年3月期	10,246,600株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	46株	2023年3月期	46株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	10,246,554株	2023年3月期2Q	10,246,562株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

株式会社ステムセル研究所は「あたらしい命に、新しい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに日本全国の産婦人科施設へ構築した強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯血」や「さい帯」等の周産期組織由来の細胞バンク事業及び、それらの細胞を利用した新たな治療法、再生医療等製品の開発を行っております。そしてこの事業基盤をベースに、再生医療はもとより、不妊治療・出産・子育て等フェムテック領域での事業開発及び投資等によるサステナブルな社会への貢献を目指しております。

(事業の概況について)

当第2四半期累計期間におきましては、コロナ禍中に制限されていた当社の主要なマーケティングチャネルである医療機関（産科施設）におけるスピーチやPR等のリアルマーケティングが大きく回復し、オンライン広告、SNS等のデジタルマーケティングと相乗効果を発揮し、過去最高の保管検体数を計上、当社が中期的に目標としている出生数に対する保管率3%（達成時の想定売上高約60億円、営業利益約18億円）に向け、順調に推移しております。

2021年4月より新たに開始した、日本初の「さい帯保管サービス」も順調に伸びており、結果、当第2四半期累計期間において四半期として過去最高の売上高、営業・経常・純利益を更新、また、通期予算に対しても売上高をはじめ、各利益項目共に上回って進捗しております。

豊富な自己資金と当社独自のネットワークにより得られる情報をベースとした事業投資分野では、2020年12月に出資した、iPS細胞由来心筋細胞シートの開発を推進する、クオリプス株式会社（東京都中央区、代表取締役社長草薙尊之）が、本年6月に東京証券取引所グロース市場へ上場（証券コード：4894）いたしました。また、2021年1月に資本業務提携した、卵子凍結保管サービスを行う株式会社グレイスグループ（東京都渋谷区、代表取締役CEO勝見祐幸）においては、9月に東京都が「卵子凍結に係る費用への助成」を開始した事により知名度が大幅に向上しております。そして本年8月には新たに最先端の3Dプリンティング技術を用いて「赤ちゃんの頭のかたちのゆがみ」を矯正するヘルメットの開発、製造、販売を行い、早期の株式上場を目指している株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー（東京都中央区、代表取締役CEO 大野秀晃）と資本業務提携を行う等、M&Aを含めた新規案件開発に注力いたしております。

(研究開発活動について)

「さい帯血」を用いた再生医療分野につきましては、国内では高知大学医学部附属病院小児科において脳性麻痺児に対する臨床研究が順調に進んでおります。

大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室を中心としたグループでは低酸素性虚血性脳症（HIE）児に対する臨床研究も引き続き進められております。また、同グループとは本年6月に「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」を開始する事を決定し公表、2024年の臨床研究開始に向け準備を進めています。

米国においては、FDA認可のもとデューク大学で進められている脳性麻痺児等へのさい帯血投与プログラムへ、当社でさい帯血を保管されている方々が参加されるケースが引き続き増加しており、その結果も良好です。

「さい帯」を用いた研究開発につきましては、大阪大学大学院医学系研究科スポーツ医学教室と設立した「運動器スポーツバイオメカニクス学講座」において、新たな半月板治療法の開発を推進しております。

また、東京大学医科学研究所セルプロセッシング・輸血部及び東京大学医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部との小児形態異常等の先天性疾患に対する治療法の開発も、引き続き推進しております。

これらの活動の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、過去最高の1,213,559千円（前年同期比17.1%増）、営業利益は215,292千円（同31.4%増）、経常利益は216,307千円（同31.1%増）、四半期純利益は159,791千円（同45.1%増）となっております。

なお、当社は、単一セグメントのため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は6,143,965千円となり、前事業年度末に比べ332,349千円増加いたしました。流動資産は4,769,667千円となり、前事業年度末に比べ224,205千円増加いたしました。これは主に、売上の増加及び分割払いを積極的に活用したことに伴い売掛金が286,501千円増加したこと、法人税等の支払い等により、現金及び預金が61,272千円減少したことによるものであります。固定資産は1,374,297千円となり、前事業年度末に比べ108,144千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は3,665,125千円となり、前事業年度末に比べ152,098千円増加いたしました。流動負債は3,583,230千円となり、前事業年度末に比べ151,658千円増加いたしました。これは主に、前受金が169,504千円増加したことによるものであります。固定負債は81,894千円となり、前事業年度末に比べ440千円増加いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は2,478,839千円となり、前事業年度末に比べ180,251千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日「2023年3月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,324,021	3,262,749
売掛金	1,140,826	1,427,327
原材料及び貯蔵品	39,352	32,916
前払費用	43,587	48,202
その他	1,514	2,538
貸倒引当金	△3,839	△4,067
流動資産合計	4,545,462	4,769,667
固定資産		
有形固定資産	648,055	690,747
無形固定資産	24,532	21,662
投資その他の資産	593,565	661,887
固定資産合計	1,266,152	1,374,297
資産合計	5,811,615	6,143,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,186	29,316
未払法人税等	62,446	81,874
前受金	3,095,007	3,264,512
賞与引当金	48,658	52,895
その他	195,272	154,632
流動負債合計	3,431,572	3,583,230
固定負債		
役員退職慰労引当金	21,013	22,023
資産除去債務	55,886	55,982
その他	4,555	3,888
固定負債合計	81,454	81,894
負債合計	3,513,026	3,665,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,805	704,805
資本剰余金	589,805	589,805
利益剰余金	1,007,405	1,167,197
自己株式	△91	△91
株主資本合計	2,301,924	2,461,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,336	17,123
評価・換算差額等合計	△3,336	17,123
純資産合計	2,298,588	2,478,839
負債純資産合計	5,811,615	6,143,965

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,036,409	1,213,559
売上原価	381,471	431,454
売上総利益	654,937	782,104
販売費及び一般管理費	491,048	566,812
営業利益	163,889	215,292
営業外収益		
受取利息	751	1,265
助成金収入	322	664
協賛金収入	—	3,342
雑収入	—	387
営業外収益合計	1,073	5,659
営業外費用		
解決金	—	2,117
業務委託費	—	2,526
支払手数料	0	—
営業外費用合計	0	4,643
経常利益	164,962	216,307
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22,327
その他	—	1,746
特別利益合計	—	24,074
特別損失		
固定資産除却損	—	8
特別損失合計	—	8
税引前四半期純利益	164,962	240,372
法人税、住民税及び事業税	57,564	73,862
法人税等調整額	△2,747	6,718
法人税等合計	54,816	80,581
四半期純利益	110,145	159,791

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	164,962	240,372
減価償却費	49,801	55,351
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,020	227
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,278	4,236
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,113	1,010
受取利息及び受取配当金	△751	△1,265
補助金収入	△322	△664
売上債権の増減額 (△は増加)	△295,696	△286,501
棚卸資産の増減額 (△は増加)	10,722	6,436
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,131	△870
未払金の増減額 (△は減少)	△10,144	18,209
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△26,635	△16,638
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△22,327
前受金の増減額 (△は減少)	178,131	169,504
その他	△3,980	△15,143
小計	76,368	151,938
利息及び配当金の受取額	628	1,269
法人税等の支払額	△68,328	△54,653
補助金の受取額	322	664
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,991	99,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,000	—
投資有価証券の取得による支出	△16	△99,900
投資有価証券の売却による収入	—	72,327
ゴルフ会員権の取得による支出	△30,254	—
有形固定資産の取得による支出	△39,679	△130,704
敷金及び保証金の差入による支出	△49	△172
その他	△496	△1,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,496	△159,824
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△92	—
リース債務の返済による支出	—	△666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92	△666
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△60,598	△61,272
現金及び現金同等物の期首残高	3,510,318	3,324,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,449,720	3,262,749

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。